【利用上の留意事項】

* 健診受診者ご本人に対して健診結果を通知する際に同封できる用紙を作成しました。こちらの用紙は1項目だけを知らせる簡便な例です。実際に使用する場合は、イラストを入れたり、受診者が該当する表中の箇所に丸をつける等、より理解が進むように適宜工夫して使用してください。
* 健診受診者ご本人及び医療関係者が、受診目的等を共有することが可能となるとともに、医療関係者への周知・啓発につながることが期待されます。
* あくまでも文例なので記載方法の変更は自由ですが、記載されている科学的根拠から逸脱しないように注意してください。

**特定健康診査で血圧高値のため医療機関の受診を勧められています。**

**※医療機関受診時に、この用紙をご持参ください。**

**収縮期血圧（　　　　）mmHg**

**拡張期血圧（　　　　）mmHg**

**厚生労働省健康局の策定した「標準的な健診・保健指導プログラム（令和６年度版）」P.128フィードバック文例集では、以下のように医療機関での対応をお勧めしています。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 健診判定 | | | 対応 | |
| 肥満者の場合 | 非肥満者の場合 |
| 異常  正常 | 受診勧奨判定値を超えるレベル | 収縮期血圧≧160mmHg  又は 拡張期血圧≧100mmHg | ①すぐに医療機関の受診を | |
| 140mmHg≦収縮期血圧＜160mmHg  又は  90mmHg≦拡張期血圧＜100mmHg | ②生活習慣を改善する努力をした上で、数値が改善しないなら医療機関の受診を | |
| 保健指導判定値を超えるレベル | 130mmHg≦収縮期血圧＜140mmHg  又は  85mmHg≦拡張期血圧＜90mmHg | ③特定保健指導の積極的な活用と生活習慣の改善を | ④生活習慣の改善を |
| 保健指導判定値未満のレベル | 収縮期血圧＜130mmHg  かつ拡張期血圧＜85mmHg | ⑤今後も継続して健診受診を | |

**特定健康診査で脂質異常のため医療機関の受診を勧められています。**

**※医療機関受診時に、この用紙をご持参ください。**

**LDLコレステロール（　　　　　　）mg/dl**

**空腹時中性脂肪（TG）　（　　　　　　）mg/dl**

**随時中性脂肪（TG）　（　　　　　　）mg/dl**

* **やむを得ず空腹時以外に採血を行う場合は、随時中性脂肪により脂質検査を行うことを可とする。**

**なお、空腹時とは絶食10 時間以上とする。**

**（標準的な健診・保健指導プログラム（令和６年度版））**

**厚生労働省健康局の策定した「標準的な健診・保健指導プログラム（令和６年度版）」  
P.1３３フィードバック文例集では、以下のように医療機関での対応をお勧めしています。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 健診判定 | | | 対応 | |
| 肥満者の場合 | 非肥満者の場合 |
| 異常  正常 | 受診勧奨判定値を超えるレベル | LDL-C≧180mg/dL又はTG≧500mg/dL（空腹時、随時を問わない） | ①早期に医療機関の受診を | |
| 140mg/dL≦LDL-C＜180mg/dL又は300mg/dL≦TG＜500mg/dL（空腹時、随時を問わない） | ②生活習慣を改善する努力をした上で、医療機関の受診を | |
| 保健指導判定値を超えるレベル | 120mg/dL≦LDL-C＜140mg/dL又は  空腹時150mg/dL(随時175mg/dL)≦TG＜300mg/dL  又は HDL-C＜40mg/dL | ③特定保健指導の積極的な活用と生活習慣の改善を | ④生活習慣の改善を |
| 基準範囲内 | LDL-C＜120mg/dLかつ  TG＜空腹時150mg/dL（随時 175mg/dL） かつHDL-C≧40 mg/dL | ⑤今後も継続して健診受診を | |

**特定健康診査で血糖高値のため医療機関の受診を勧められています。**

**※医療機関受診時に、この用紙をご持参ください。**

**空腹時血糖（　　　　）mg/dl**

**随時血糖（　　　　）mg/dl**

**HbA1c （　　　　）％（NGSP）**

* **やむを得ず空腹時以外に採血を行い、HbA1cを測定しない場合は、食直後を除き随時血糖により血糖検査を行うことを可とする。なお、空腹時とは絶食10時間以上、食直後とは食事開始時から3.5時間未満とする。　　　　　　　　　　　（標準的な健診・保健指導プログラム（令和６年度版））**

**厚生労働省健康局の策定した「標準的な健診・保健指導プログラム（令和６年度版）」  
P.１３９フィードバック文例集では、以下のように医療機関での対応をお勧めしています。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 健診判定 | | | | 対応 | | | |
|  | | 空腹時血糖  随時血糖  （㎎/dＬ） | HbA1c  (NGSP)（％） | 肥満の場合 | | 非肥満の場合 | |
| 糖尿病治療\* | 糖尿病未治療\* | 糖尿病治療\* | 糖尿病未治療\* |
| 異常  正常 | 受診勧奨判定値を超えるレベル | 126～ | 6.5～ | ①受診継続、血糖マネジメントについて確認・相談を。 | ②定期的に医療機関を受診していなければすぐに医療機関受診を。 | ③受診継続、血糖マネジメントについて確認・相談を。 | ②定期的に医療機関を受診していなければすぐに医療機関受診を。 |
| 保健指導判定値を超えるレベル | 110～125 | 6.0～6.4 | ④受診継続。 | ⑤特定保健指導の積極的な活用と生活習慣の改善を、また、精密検査を推奨。 | ⑥受診継続。 | ⑦生活習慣の改善を。ぜひ精密検査を。 |
| 100～109 | 5.6～5.9 | ⑧生活習慣の改善を。リスクの重複等あれば精密検査を。 |
| 基準範囲内 | ～99 | ～5.5 | ⑨肥満改善と健診継続を。 | ⑩今後も継続して健診受診を。 |